

平成30年 3月 5日

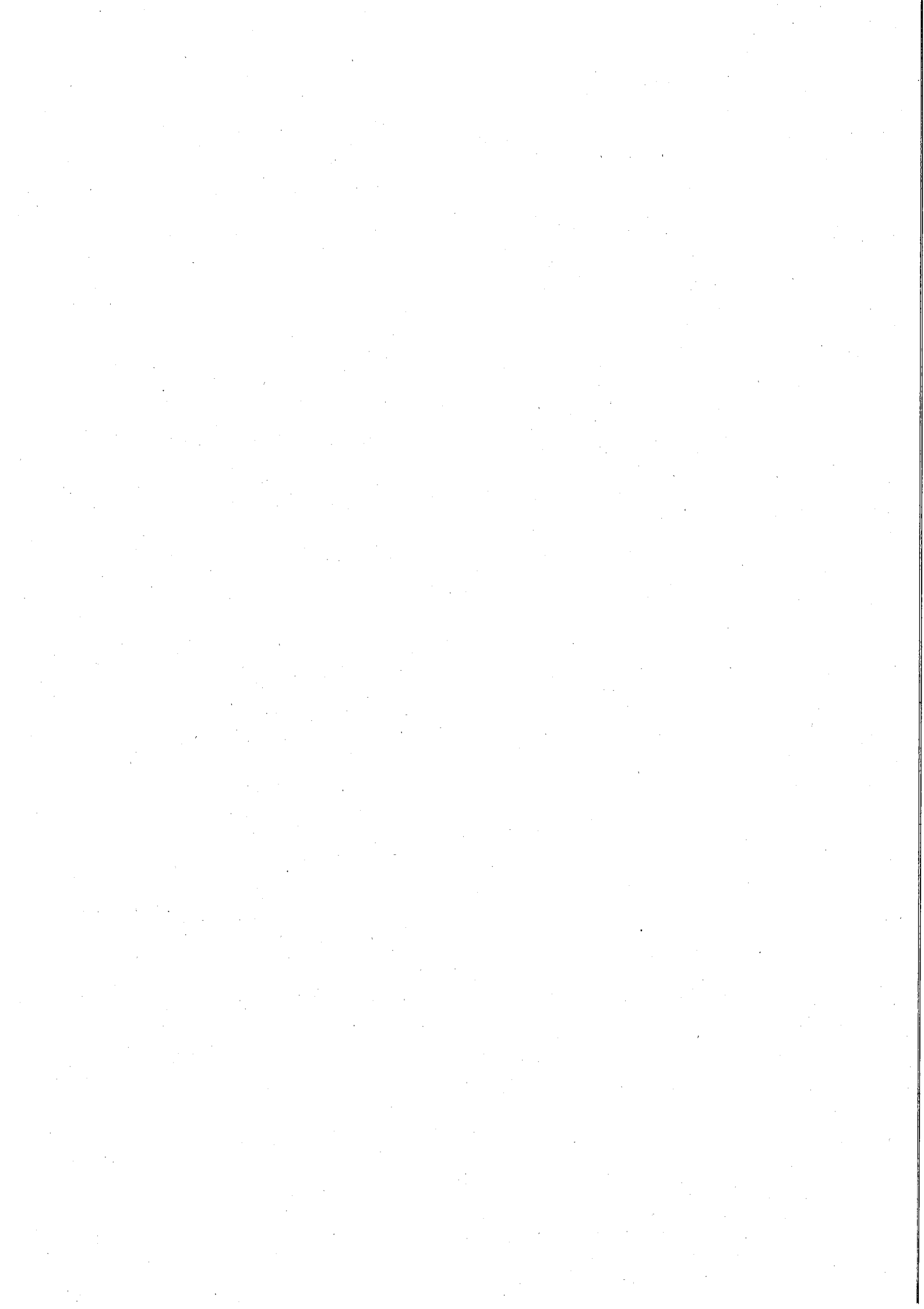
柏市長 秋山浩保様

柏市男女共同参画推進審議会
会長 大村芳昭

「平成28年度 第三次柏市男女共同参画推進計画(前期)報告書」について

このことについて、別紙のとおり意見書を提出します。





柏市男女共同参画推進審議会からの意見

柏市男女共同参画推進審議会は、柏市附属機関設置条例により位置づけられ、男女共同参画に関する総合的な施策の推進に関する審議を行うこととなっています。

そこで、審議会での委員による率直な意見交換を踏まえ、男女共同参画推進計画に基づく施策およびその進行状況についての意見を提出します。

1 総合意見

平成28年度から新たに第三次柏市男女共同参画推進計画がスタートし、最初の実績報告が出た中で、様々な施策の実施における実績や効果に差があるのが現状である。一方で、施策の内容によってはすぐにその効果がでるものばかりではないため、今後も継続的に計画の推進を図っていくことを要望する。

昨今、重視されている女性の活躍推進や、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けては、今後の計画の見直しや企業に向けたワーク・ライフ・バランスの啓発を行ううえでも、課題の洗い出しと実施事業の検討を行っていただきたい。

今後も全庁的に各部署が男女共同参画の視点を持って男女が平等に暮らすまちづくりの実現に向け、計画の着実な推進を図るよう要望する。

2 各課題についての意見

(1) 女性の活躍推進について

重点課題の指標としているように、町会長・自治会長・区長等における女性の割合について、活動に女性の参画を促すことが課題の1つだと考える。自治会や管理組合等で女性の活躍の実数を増やすことだけでなく、役員名簿上の名前は男性の世帯主だが実際に活動しているのがパートナーである女性というケースも少なくない現状で、その活躍を埋もれさせてしまわないような取組みの検討を期待する。

(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進について

ワーク・ライフ・バランスの実現には、企業や組織の中でそれぞれの社員の置かれている環境（家族構成や身内の支援の有無など）の違いを理解することが不可欠である。さらには、会社を超えて社会全体で「お互い様」という認識と相互理解が実現できることが理想のワーク・ライフ・バランスにつながると考えられる。

企業アンケートを通じ、市内の企業が管理職への啓発の機会を求めていることが把握できたため、今後はそれらの事業を検討して行っていただきたい。

また、啓発を行うにあたっては、相互理解の視点に重点をおき、それを広めるためには職場の長のリーダーシップが必要不可欠であるという意識を広げてもらいたい。

(3) 推進体制について

第三次柏市男女共同参画推進計画の推進について、男女共同参画センターを拠点とし、計画の進捗管理だけでなく、啓発講座や企画イベントなどさまざまな学習の機会の創出や、情報発信を推進していただきたい。

また、近隣市の動向を見ながら、男性相談やLGBT等性的少数者に関わる相談、その他不登校や自殺予防につながる相談など、関係部署へも働きかけを行い、男女共同参画センターだけでなく、柏市全体として各種相談窓口の一層の充実を図っていただきたい。